

個別施設整理番号	-	林道台帳索引番号番号	-	施設管理者	吉崎市
路線名	農道 幡鉾中央1号線	農道道種類及び区分	2等橋	橋梁名	椋橋
施設の所在地	吉崎市芦辺町	起点からの距離	-	建設年度	1997年
供用年数	24	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	平成5年	橋格(設計荷重)	TL-14	橋下条件	幡鉾川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	53.60m(26.06m)		幅員(車道幅員)	6.20m(5.00m)
	施設の構造等	上部工型式	PCポステンT桁			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	-
		支承形式	ゴム	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	橋台:PHC杭(φ500)	
橋脚工型式	T型橋脚		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	農道 幡鉾中央1号線に架かる椋橋周辺は耕作地帯であり、農作業等による車両の通行が見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年12月22日				
	調査結果	主桁や横桁に欠損やかぶり不足が要因と思われる鉄筋露出が部分的に見られた。軽微な損傷であり、道路橋の機能に支障が生じていない。伸縮装置の劣化が著しく、走行性や止水性の低下により、下部工への漏水跡が見られた。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	施工時のかぶり不足や経年劣化が原因と考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	伸縮装置取替工の補修工事を行う。				
	実施予定時期	伸縮装置部は経過観察とし、令和6年度に取替え検討を行う。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 橋梁の健全度はⅡ:予防保全段階であり、上部工、下部工共に損傷は軽微であることから、優先度は「中」とした。			
	対策費用(概算)	伸縮装置取替工 約8,000千円				
管理方法	長寿命化対策として、損傷部分の補修等を行うとともに、5年に1度の定期点検を行う。また、橋面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	平成41年
対策費用(百万円)		1.3				8.1	1.3			
対策の内容・実施時期		定期点検				補修工	定期点検			

備考										